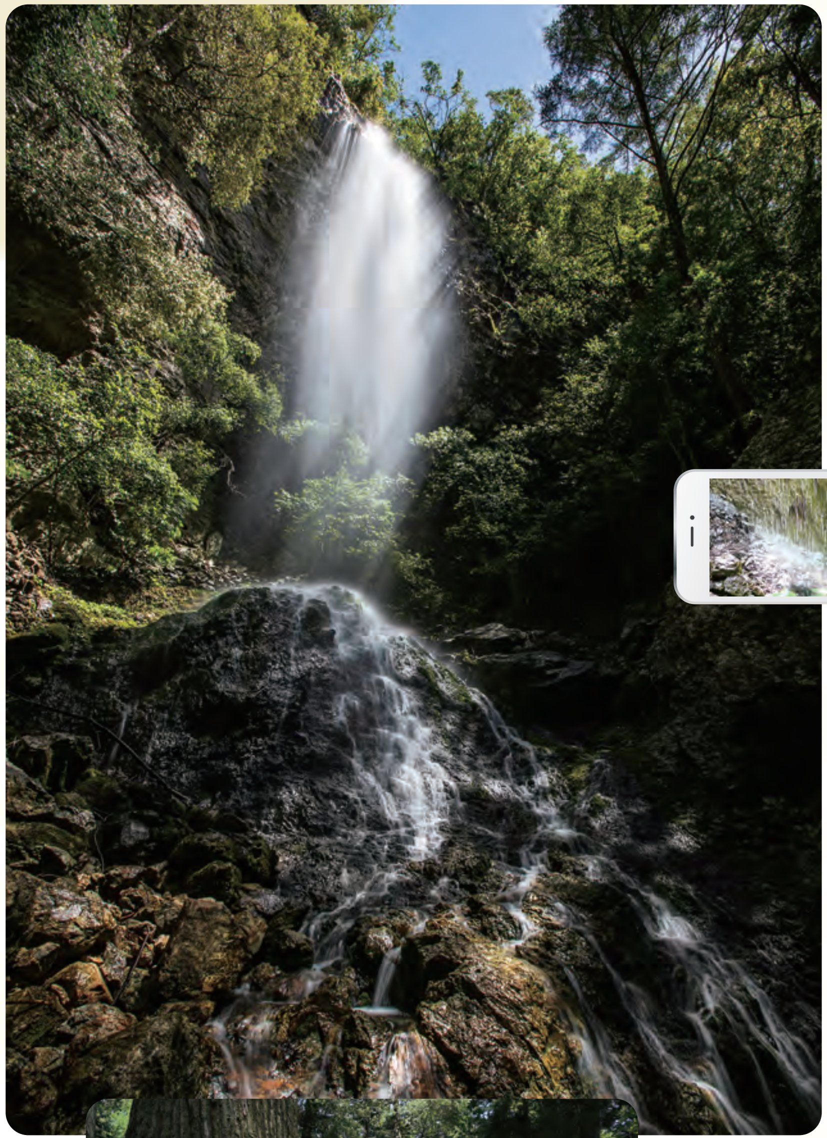
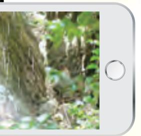
脚に自信のある方におすすめ。万全な装備でたのしむコース

迫りくる岩山に別世界を体感　神木（こうのぎ）

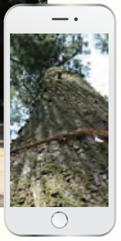


④ 唐滝不動尊（からたきふどうそん）（不動（ふどう）の滝（たき））

「天井のない洞窟」ともいわれる岩で囲まれた空間に足をふみ入れると、水しぶきの音が響きます。見上げると、高さ約20mの険しい柱状節理の岩から静かに流れ落ちる滝。幻想的な雰囲気が別世界へと誘ってくれます。ふだんの水量は少なく、まるで水の粒が落ちてくるような滝です。天気のよい午前中は、岩の上で跳ねる水が光をキラキラと反射させる様子が見られるでしょう。
周囲を散策する時は苔むした岩や濡れた岩肌など足元に注意して歩いてください。



滝の内側には唐滝不動明王が祀られています。岩の中腹まで登ることができるので、滝の裏側を見ながら近くで拝むこともできます。



① 原地神社（はらちじんじゃ）

神木の集落は、平安時代に京都・大原からやってきた「原七家（はらしちけ）」といわれる人々が中心に開いたとされています。その折に、氏神さまを祀ったのが「原地神社」の始まりです。
境内には雑木が繁茂する中で、ひときわ威厳を放ち、そびえているのが数百年を経た大杉。鳥居の向かい側に立つ樹齢推定400年、幹まわり3.3mの梛（なぎ）の木も見事です。

イヌマキ

樹齢およそ800年といわれる高さ20mの巨木です。幹まわりが約5.8mあり、イヌマキとしては国内第2位を誇っています。根元の石には「狩かけの宮」と刻まれており、地元の人々から狩りの神さまとして大切にされていることがうかがえます。

歩いた先には別世界

1時間半コース

START

七里御浜TICを出発

- 車で約20分
- 10:00 ① 原地神社
- 徒歩約15分
- 10:20 ② 唐滝不動尊登り口　ここまで車で入ることも可能
- 徒歩約15分
- 10:40 ③ 山の神　唐滝不動尊上がり口
- 徒歩約10分
- 10:50 ④ 唐滝不動尊　滝の裏側へ歩いてみよう
- 徒歩約30分
- 11:20 ⑤ 原地神社

公民館の近くの無人市でみかんを購入

無人市で買ったみかんを食べよう！

上から覆いかぶさる岩がトンネルのようになっている道。

山道を歩き始めてすぐに見える絶景

明見山（みょうけんさん）（妙見山）

標高620mの山頂にある明見社の祭神は、北斗七星です。巨岩が御神体となり信仰を集めています。参詣道には1町ごとに町石（丁石）が建てられており、たどりながら20町20間（約2.2km）の山頂を目指すことができます。道沿いには、遥拝所や石灯籠、水呑場、地蔵像もあるので、拝みながら登るのも楽しいでしょう。頂上近くから一望できる熊野灘は絶景です。
かつて地元では、国家鎮護、除災招福、延命のための霊地とされ、戦地へ赴いた人々の帰還を願い、多くの人が明見社へ足を運びました。七里御浜から運んだと思われる白い石が敷き詰められ、信仰の道としての名残が感じられます。

※計画と装備を万全に、ゆとりをもって歩きましょう。
長そで・長ズボンを着用し、天候・体調・装備などを十分に考えてたのしんでください。
急勾配の山道がつづきます。
石ころがころがって歩きづらい個所があるので注意してください。
マダニ、マムシ、野生動物などと遭遇することもあるので、注意が必要です。